

# 児童デイサービスNEWS



10月のテーマは「秋の訪れを感じよう」でしたが、やっぱり食欲の秋だったようです。

10月の第4週はクッキング。たこ焼き、かりんとう、クレープ、サツマイモの茶巾しぼりなどに挑戦しました。

一番人気はたこ焼きで、作る姿はたこ焼き屋さんそっくりです。

また、サツマイモの茶巾しぼりでは近くの畑でいもほりをしました。しかし、サツマイモから茶巾しぼりへのつながりがむずかしたったようです。

24日には「ウサギ」がやってきました。お借りしたのですが、児童たちの反応は見てる子、さわる子、逃げる子と様々でしたが、ウサギとふれあっている間は穏やかな時間が流れました。

今後の検討材料がまた一つできました。

たこ焼き

いもほり



落ち葉で秋を表現しました

## 11月の予定

- 1日(火) 会報「まごころ」発行  
移動ネット愛知理事会  
市民協愛知幹事会
- 2日(水) サービス提供責任者会議  
市委託介護予防、認知症講座
- 4日(金) 市委託介護予防、認知症講座
- 6日(日) 定例会  
まごころふれあいまつり
- 8日(火) ミニデイサービス
- 9日(水) 支援費(デイ・居宅)監査  
サービス提供責任者会議
- 10日(木) 障害児童に関する勉強会
- 13日(日) 安全運転講習会
- 15日(火) ミニデイサービス
- 16日(水) サービス提供責任者会議
- 22日(火) ミニデイサービス
- 23日(水) サービス提供責任者会議
- 24日(木) ミニデイサービス(保育園)
- 25日(金) 児童デイ事務局会議  
支援費集団指導
- 29日(火) ミニデイサービス  
精神保健事例検討会
- 30日(水) サービス提供責任者会議

## 福祉とボランティア展 10月15日、16日



まごころは今年の「福祉とボランティア展」に白いドームと白いパネルを用意しました。

そこには来場者の夢を書いて頂きました。

絵であったり、詩であったり、各自が思い思いに書かれ

「健康、平和、長寿、感謝、それになりたい職業」などがカラフルに表現されたドームに生まれ変わりました。みなさんのご協力有難うございました。

利用件数	57件
生活援助	464時間
身体介護	656.5時間
合計	1120.5時間

訪問件数	32件
身体介護	184.5時間
家事援助	123時間
移動介護	88.5時間
日常生活支援	6時間
合計	402時間

児童デイ開所日	2日
延べ参加人数	3人
参加人数/日	1.5人/日

児童デイ開所日	22日
延べ参加人数	204人
参加人数/日	9.3人/日

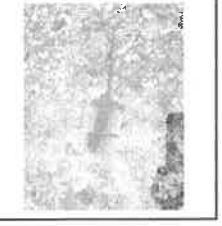
有償活動件数	32件
有償活動人数	40人
ミニデイサービス利用者	59人
移動サービス利用件数	316件
ふれあい広場利用回数	8回
助け合い活動時間	612.5時間
補助事業(精神障害者在宅)	15時間

## ふれあい広場

*支援費児童デイサービス	
毎週 月、水、木、金	15時~18時
毎週 水、金	9時半~12時
毎週 土	10時~17時
*太極拳 毎週 火	16時~17時
*中高年のピアノ教室 第2、4月曜	9時~12時
*中高年の体操教室 第1、3、5月曜	10時~12時
*ふれあい広場でお茶 毎週 木曜	10時~12時

協力会員	63人
利用会員	96人
賛助会員	109人
合計	268人

**夜叉ヶ池に棲むイモリ**  
山の上のこんなところで、おたまじゃくしと  
いっしょにイモリが泳いでいました。  
児童デイに動物を連れてきてはふれあっている  
のですが、このような自然のままの姿を児童たち  
と一緒に見たいものです。



## 神頼み

高 勝義

多くの人は困ったときに何かに頼ろうとする。特別な宗教を信じていない人でも、何かにすがりつこうとする。無宗教の私もその例外ではない。

今まで手術をした後、患者さんの経過が思うように行かないことが重なったりすると、自分の生年月日と氏名を書いた紙を母や妻に津島の祈祷師の所に持って行ってもらい、私の代わりにお祓いを受けたことは幾度かある。

自分自身が直接行かなくても、遠く離れてでもお祓いをしてもらったという心理が、自分自身を安心させるのであろう。お祓いの後は手術などがうまく進んでいくような気がしたものだ。

今回今まで経験したことのない背中中の痛みを遭遇し、また神頼みをする事になった。西洋医療を信じ、それを実行してきた自分自身が、いざ苦痛に遭遇すると、とたんに西洋医学の理論ばかりではなく、自然界に存在するであろう自然の力、何か神の力を信じようとするのである。

癌で苦しむ患者さんが藁をもつかむ思いで、神にすがろうとする気持ちは自分で理解していたつもりであったが、いざ自分がそんな立場になってみると、患者さんの気持ちが今はよりいっそう分かる気がするのである。痛みの激しかった頃には、妻の勧めで大垣の御首神社にお参りにも行った。

とある知り合いに風水を見てもらったところ、私自身の体から「気」が無くなってきており、そのために身体に色々な症状が生じているのではないかとされた。妻と話し合い、もうこの際痛みさえ良くなるのなら、どんな方法でも良い。神であろうと、風水であろうと、占いであろうと何でもよいということになった。

早速その風水をみていただき、私の体に「気」を入れる方法をお願いすることとした。家の見取り図を送り、私の生年月日と氏名を参考にして、「気」を入れるための方法とその日時を決めていただく事とした。

お願いしをして二ヶ月ぐら過ぎた頃、家の中のとある場所に埋める羅経という大きな風水板と、清めのための付属品と、埋めるべき場所と方法が書き記された説明書の入った箱が家に送られてきた。指定された日に60cm四方、深さ60cmの穴を掘り、清めを行い、羅経とその付属品を埋めた。

今すでに数日が過ぎているのだが、何となく背中中の痛みが軽くなっているような気がするのである。困ったときの神頼み、どんな神でも仏でもよい。頼った神を信じてこそ、その効果はあるのかもしれない。

偉大なる自然界の中に生かされている私達。誰かに強要することではない。自分の心で信ずればこそ、自然界の力や神の存在はあるのかもしれないと思うのである。

(山下病院)

## 12月の定例会

12月4日(日)  
野外定例会 11:00~14:00